

病虫害発生予察指導情報

(ナシ・クワコナカイガラムシ No. 1)

令和5年4月20日
鳥取県病虫害防除所

1. 情報の内容

クワコナカイガラムシ越冬卵からのふ化開始は、平年より11日早い4月20日(平年:5月1日)に認められました。昨年、果実被害が多く認められた園では防除を徹底して下さい。

2. 情報の根拠

- (1)クワコナカイガラムシ卵のうからの越冬世代幼虫のふ化*開始は、平年より11日早い4月20日(平年:5月1日)に認められた。
- (2)卵のう内のふ化の様子及び今後の気象経過などから、越冬世代幼虫のふ化最盛日は4月27日前後(平年:5月8日)と見込まれる。

*クワコナカイガラムシ越冬卵からのふ化は、百葉箱内(園試)で観察。越冬卵をシャーレ中央に静置し、越冬卵周囲に粘着物質を塗布、その粘着物質に捕獲された幼虫数を計数。

3. 防除上注意すべき事項

- (1)昨年被害の多かった園では、必ず2回防除を行う。特に、越冬世代は、第1世代及び第2世代よりふ化時期が揃いやすいので防除を徹底する。
- (2)昨年度多発した園等では、5~7日間隔で以下の時期を目安に2回の防除を行う。
 - ・幼虫ふ化最盛期 4月27日 ~ 5月1日
 - ・幼虫ふ化終期 5月2日 ~ 5月6日
- (3)薬剤はアクタラ顆粒水溶剤2,000倍液、アプロード水和剤1,000倍液などを使用する。
- (4)薬剤の散布にあたっては、クワコナカイガラムシが集合する枝葉の他、枝の切り口及び粗皮下などに薬剤が十分かかるようにする。
- (5)農薬の散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守する。